

【 指導医に聞く 】 公立宍粟総合病院

◀ 紹介 ▶

名 前：水谷 直也

勤務先：公立宍粟総合病院 内科

経 歴：H27 兵庫医科大学 卒業

H27-H28 赤穂市民病院 初期臨床研修

H28-H30 公立豊岡病院組合立 朝来医療センター 内科

H30-R01 公立宍粟総合病院 内科

R02-R04 県立丹波医療センター/丹波市ミルネ診療所

R04- 現職（卒後9年目・後期派遣2年目）

専 門：総合診療・家庭医療



◀ 勤務先の紹介 ▶



宍粟市（…は全国有数の難読地名です！）は県中西部の中山間地域にあり、東は朝来市・神河町に、西は佐用町・岡山県美作市および西粟倉村に、南はたつの市・姫路市に、北は養父市・鳥取県若桜町に、それぞれ接しています。

私が勤務する公立宍粟総合病院は、市南部の山崎町内に位置しています（右図・赤丸印）。

市域の約 9 割を森林が占め、南北の往来は専ら

国道 29 号線に拠るとい地理的条件は、実際のところ、山崎町外からの通院や救急搬送には不利になります。そうした宍粟の特性を意識



しながら、市内唯一の公立病院機能の一助となるべく、一般内科診療に日々従事しています。

◀ ～地域医療の魅力～ 養成医、地域枠学生へのメッセージ ▶

医療資源に限りのある高齢社会で、いま、全人的・総合的に患者・生活者をみることが求められています。医師による診断を経て介入していくべき、目の前の医学的諸課題があります。特に高齢患者さんでは、多疾患併存が顕著です。他方で患者さんや家族には、それらの諸課題は、各自の生活や価値観に関わるような、人生の問題としての意味を帯びています。

地域医療の文脈のなかで卒後 9 年を過ごしてきて、医療従事者には、生活者としての患者さんの背景を理解し、ときにはその代弁者となりながら、多職種協働でひとり一人の健康問題の解決にコミットしていく姿勢が求められることを実感しています。そのためのさまざまな知識や技法については、総合診療・家庭医療の専門性から、多くを学んでいます。

地域医療への皆さんの参加を、その卓越性へのコミットメントを、待望しています！

キャリア形成卒後支援ユニット

postgrad@med.kobe-u.ac.jp

〒650-0017 神戸市中央区楠町 7-5-1 TEL 078-382-6596 FAX 078-382-6597(神戸大学総合内科医局内)